

科目分類	助産学実践科目 実践・関連			開講時期	1年 前期	
授業科目	周産期の診断と技術Ⅳ（ハイリスク）					
選択／必修	必修	単位数（時間数）	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	木下 珠希 ・ 窪田 裕子 ・ 田中 真穂					
メールアドレス	t-kinoshita@tsuruga-nu.ac.jp(木下) y-kubota@tsuruga-nu.ac.jp(窪田) m-tanaka@tsuruga-nu.ac.jp(田中)	オフィスアワー		随時相談に応じます。 事前にメール連絡してください		

到達目標	<p>1) ハイリスクにある母子（妊娠・分娩・産褥・新生児期）の助産診断・ケアに必要な知識が理解できる</p> <p>2) ハイリスクにある母子（妊娠・分娩・産褥・新生児期）の援助技術について説明できる</p> <p>3) 産科における手術時のケアについて理解できる</p> <p>4) 産科における緊急時の対応について理解できる</p>
授業概要	ハイリスク状態にある妊婦・産婦・褥婦と援助技術について理解し、ハイリスク状態にある妊産褥婦の健康状態のアセスメント及び援助技術を実践できる基礎的能力を養う。
授業内容	<p>第1～2回 妊娠期の異常とそのケア（合併妊娠、母子感染含む）</p> <p>第3～4回 分娩期の異常をそのケア</p> <p>第5回 産褥期の異常とそのケア</p> <p>第6回 ハイリスク新生児の病態とケア</p> <p>第7回 妊娠・分娩期における手術</p> <p>第8回 まとめ</p>
教科書・参考書等	<p>教科書：助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ 妊娠期．医学書院</p> <p>助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ 分娩期・産褥期．医学書院</p> <p>参考書：授業内で随時紹介する。</p>
成績評価基準・方法	筆記試験 70%，レポート 30%
履修要件	なし
留意事項・その他	助産学実習Ⅲの実習内容に大きく関連しています。事前学習・復習すること。